

# 東北復興 PSW にゆうす

第50回公益社団法人日本精神保健福祉士協会全国大会・第13回日本精神保健福祉士学会学術集会が、6月19日(木)～21日(土)大宮ソニックシティにて開催され、総会の議決を経て、これまで復興支援本部が取り組んできた活動は、復興支援委員会に引き継がれることとなりました。新たな体制につきましては、次号にて紹介させていただく予定です。今回は埼玉での全国大会の様子とこれまで復興支援本部を牽引してきた小関本部長代行のご挨拶をお届けします。

一日も早く、被災された地と民に  
「日常」が戻ることを信じて

ありがとう復興支援



新体制になっても  
よろしく願います！！

東日本大震災の発災直後からの災害対策本部、引き続きの復興支援本部に参画させていただきました。

ソーシャルワーカーとして、そして「同じ東北人だから」という想いを胸にしてもなお、かつてない惨禍にあって命そのものと対峙しながらも生きること懸命の方々との間には、雲泥万里の隔たりがあることを思い知らされる日々でありました。

しかしこの間、自らの現場を同僚に託して全国各地から被災地へと馳せ参じていただいた構成員の姿に心揺さぶられ、折に触れての募金や有形無形に届けられる温かなメッセージは、心に深く刻まれました。そして、「支援者支援」を旗印に肩組みあう本部員との強く共感する取り組みは、私の生涯にわたって記憶されるものとなりましょう。

今、私は、宮城県・石巻市で、この文章を書いています。山形道から東北道を経て三陸道へ。訪ね続ける年月に四季の移ろいを幾度か重ねるうち、蘇る緑の田畑、灯りを取り戻した街のネオンや家々の窓を見て参りました。確かに響く復興の槌音と共に、月日の経過と共に生じるあらたな生活問題に打ちひしがれる人びとを目の前にしています。

復興支援本部による様々の取り組みの一つとして、岩手・宮城・福島沿岸部の被災現地を訪ね、其処で暮らす構成員と語り合う「ほっとミーティング」を行ってきました。石巻、大船渡・陸前高田、南相馬・・・と、訪ねる度毎に次第に湧き上がる「全国の構成員にも、東北の今を見てほしい。これからを一緒に語りあいたい。東北に縁(ゆかり)を感じていただけるように」という想いが、「訪ねる側と迎える側との構成員の出会いが末永い縁(ゆかり)へと繋がりますように」という祈りをも込めた「復興支縁ツアー」を企画することに至りました。

この実施は、あらたに構築される「復興支援委員会」によって具体化されることとなります。是非、御期待下さい。そして、全国各地の構成員の皆様方におかれましては、新たなステージへと新委員長を中心に若い力が結集する復興支援委員会に対しましても、引き続き一層のお力添えを賜りますよう衷心よりお願いいたします。

本協会理事・復興支援本部長代行 小関 清之(山形・秋野病院)

6月19日(木)～21日(土)埼玉県大宮ソニックシティにて第50回公益社団法人日本精神保健福祉士協会全国大会・第13回日本精神保健福祉士学会学術集会在開催され、3日間を通して東日本大震災被災地事業所等製品販売事業として、岩手・宮城・福島の事業所製品の販売を行いました。当日は19事業所から2000を超える製品が寄せられ、その販売や準備は岩手・宮城・福島で震災時も今も精神保健福祉士として活動を続けている仲間や、全国から集まった有志総勢16名が行いました。製品の郵送費用などは皆様からお預かりした募金を活用させていただき、事業所への負担がかからないような形とし、最終日には柏木会長を始めとして、多くの理事の方々も一緒に声を上げて販売に協力いただきました。

販売に携わったスタッフは、製品を寄せていただいた事業所を想いながら、そしてそれぞれが秘める被災地への想いを語りながら販売に当たり、製品を購入された皆さんからは「今も被災地に想いを寄せています」と多くの言葉をいただきました。今回の販売は、ただ物売るだけではなく、様々な想いをつなぐ活動でもありました。また、来年の福島大会に向けてのTシャツも販売され、購入された方々からは「来年は必ず福島へ行きます」との言葉もいただきました。



福島大会 PR  
Tシャツ

販売は終始笑顔で行われておりましたが、その笑顔の裏にはまだまだ整理のつかない想いがあることも垣間見られました。さらにそのような想いをまだ表出できないという言葉も聞かれ、改めて復興はまだ道半ばであり、その道程で私たちに何ができるのかを考え続けていく必要性を実感いたしました。

これから何ができるのか、まだ明確な答えが見つからないことも多くありますが、被災地に暮らす人々が、震災によって生活に大きな影響を受け続けている人々が、真に復興を実感できるその日まで、皆さんとともに考え、歩み続けたいと強く感じる3日間でした。

出品いただいた事業所の皆様、製品を購入いただいた皆様、そして今回の販売にご協力いただいたすべての方に感謝申し上げます。

復興支援本部員 長谷諭(宮城県支部)

#### 【製品を出品いただいた事業所】

- ・あすなるホーム・@(アット)かたつむり・きらり・青松館・星雲工房
- ・朋友館・千寿の会・あさがお・南相馬ファクトリー・ふたばの里
- ・川俣町セルフかえで・NPO 法人あおば・コーヒータイトム・みお七ヶ浜
- ・福島県精神保健福祉士会・きらら女川・工房地球村・アウラ・宮城県精神保健福祉士協会



販売スタッフ

#### ♥～復興支援活動募金報告～♥

2,978,128円(2012年5月7日～2014年6月23日現在)  
皆様からお預かりした真心のこもった募金は、復興支援に携わる仲間への支援に役立ててまいります。引き続きご協力のほど、よろしくお願いたします。

#### 全国大会で寄せられた心温まるメッセージ

この3年どのような大変な生活を送られてきたのか…。想像すると何も言えなくなってしまいます。それでも笑顔でがんばる現地の皆さん、支援者の皆さん…。どうか体を大事にして下さいね。応援しています。

#### ★皆さんからのメッセージを募集します★

本誌では被災した各地の仲間へのメッセージ及び被災地からの情報発信など、相互交流ができる紙面づくりを目指しております。全国どなたからのメッセージでも構いません。それぞれのお立場からの声をお聞かせください。本誌へのご意見・ご感想も大歓迎です。本紙面や協会ホームページにてご紹介させていただきます(原則として投稿者氏名以外の個人情報掲載いたしません)。お届け先は復興支援本部の事業を引き継ぐ復興支援委員会へのFAXもしくはE-mailにてお願いたします。

E-mail: office@japsw.or.jp \* 題名に「PSWにゆうすについて」とご記入をお願いします。

第12号 2014年7月15日発行

発行: 公益社団法人 日本精神保健福祉士協会 東日本大震災復興支援本部

〒160-0015 東京都新宿区大京町23-3 四谷オーキッドビル7F TEL.03-5366-3152 FAX.03-5366-2993

復興支援本部 URL: <http://www.japsw.or.jp/f-honbu/>